

スポーツ施設整備基本計画の基本方針(案)

資料1-1
令和4年10月14日
長浜市公共施設マネジメント推進委員会資料
スポーツ振興課

計画の目的

市内に現存するスポーツ施設の機能や配置を見直し、安全で安心なスポーツ施設を継続的に運営できる体制を構築することで、市民が身近にスポーツに親しむことができる環境を整備するとともにスポーツ振興を図る。

計画期間

令和5年4月1日から令和15年3月31日まで（10年間）

スポーツ施設を取り巻く現状と課題

老朽化等により施設維持管理経費が増加している。
(H29：104,508千円 → R3：154,298千円)

旧市町単位でスポーツ施設が整備されているため、同機能の施設が複数ある。

今後、人口の急減に伴い利用者の減少が見込まれる。
2022年115千人 → 2045年92千人（※社人研推計）

類似施設である学校体育施設の有効活用が進んでいない。

施設種別	施設数	うち30年以上	平均稼働率
体育館	9	7	34%
武道場	2	2	76%
屋内グラウンド	3	0	51%
陸上競技場・運動場	7	4	14%
野球場	2	2	11%
テニスコート	5	4	11%
その他	5	2	16%
合 計	33	21	

スポーツ施設の現状分析

- ・施設ごとに稼働率の差が大きい。
- ・多くの施設では、近年、大規模修繕・更新がなされていないため、減価償却率が高い。
- ・大規模施設には人材・物量が投入されるため、利用者一人あたりコストが高い。

ワークショップ(※)での主な意見

- ・選択と集中による発展的な統廃合が必要。
- ・利用頻度が低い施設は廃止もやむを得ない。
- ・地域の拠点施設と大会等に利用する施設の住み分けが必要。
- ・もっと学校体育施設を利用してはどうか。
- ・どこにどのような施設があるのかわかりにくい。
- ・施設のユニバーサルデザイン化の状況を知りたい。
- ・利用しやすい予約システムの導入が必要。

※ワークショップ

期 間 R4.6.1-R4.7.13（全4回）

参加者 スポーツ推進委員・スポーツ協会・スポーツ少年団・
総合型地域スポーツクラブ・スポーツ施設指定管理者・
福祉事業関係者 22人

計画の基本方針

選択と集中の推進

選択と集中により施設維持管理の効率化を図る。

適正配置の推進

利用状況に応じた施設の適正配置を図る。

学校体育施設の 有効利用

地域スポーツの活動の場として、学校体育施設の積極的な利用を図る。

施設の利用促進

更なる利用促進のため、予約システムの導入による利用の効率化を図り、ユニバーサルデザインの状況も含んだ情報発信を行う。